

# 公社債務負担を含めた市債残高の削減を

平成会 山崎 雅俊 議員



▲ 土地開発公社所有の広大な「旧日本プレハブ跡地」

**議員** 市財政が比較的好調と言われるこの時期に、市債残高の削減を図るべきと考える。公社債務負担についても大胆な軽減策を図るべきと考えるがいかがか。

**市長** 市債残高及び土地開発公社への債務保証の解消が重要な課題である。とりわけ、同公社への債務保証の早期解消が本市財政の健全化を図る上で重要であり急務となっている。公社所有地のかんりの部分を占める「旧日本プレハブ跡地」

**議員** 改正介護保険法により、いくつかの改革に取り組むとされているが、どのように取り組まれるのか。

**市長** 「地域包括支援センター」を本年4月に直営で

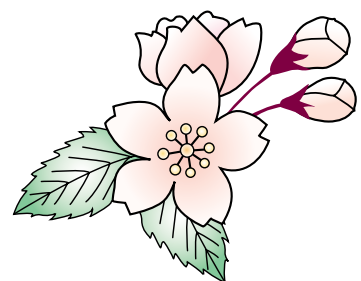
設置し、高齢者等の総合相談や支援、権利擁護業務や新子防給付対象者、地域支援事業対象者へのケアマネジメントを実施する。市内7カ所にある在宅介護支援センターを地域包括支援センターや高齢者へのサポート、情報提供機関に位置づけ、「地域包括ケアシステム」の充実を図る。地域密着型サービスは「第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき整備を図る。地域支援事業は、民間の活力を生かしながら

**産業振興策は** 実施していく。

**議員** 新たな都市型産業の誘致を視野に入れた「企業集積基本計画」の具体的な策定方針について伺う。

**市長** 一定規模以上の未利用地の現状を把握し、活用の可能性を検討することにより、新技術・先端産業や研究開発型企業の誘致を図るほか、既存産業の集積についても検討していく。

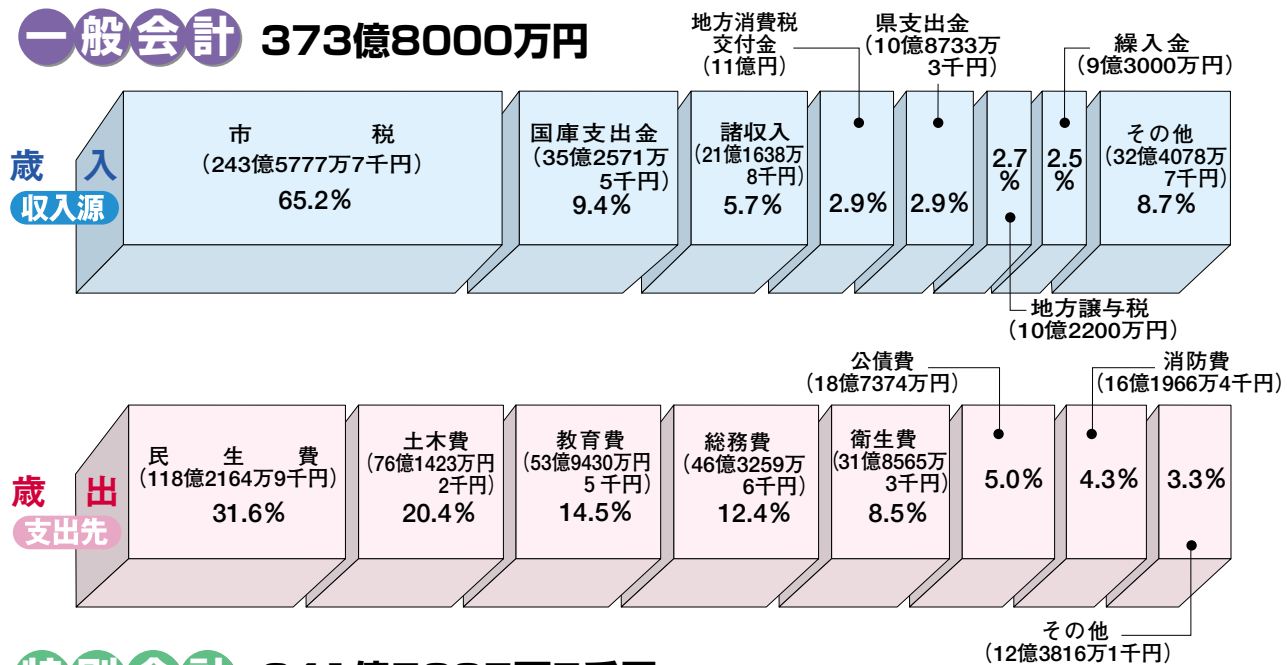
# 総括質問



総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表質問のことです。今定例会では、2月8日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをいただきました。なお、施政方針の内容は、4月1日号の「広報戸田市」に掲載されていますので、そちらをご覧ください。



## 平成18年度予算



今年度はこのように使います

## 特別会計 241億5885万5千円

会計名	当初予算額	会計名	当初予算額
国民健康保険	88億3382万8千円	海外留学奨学事業	465万8千円
公共下水道事業	31億5065万7千円	老人保健	45億4800万円
学童等災害共済事業	110万8千円	火災共済事業	495万1千円
中小企業従業員退職金等福祉共済事業	3億6827万3千円	介護老人保健施設等事業	6億8510万5千円
医療保健センター	5億6720万5千円	新曽第一土地区画整理事業	28億4388万8千円
交通災害共済事業	1830万1千円	介護保険	30億3422万4千円
		新曽第二土地区画整理事業	9865万7千円

## 平成18年度 一般会計の主な事業

事項	予算額
<b>安全・安心のまちづくり</b>	
学校施設等耐震対策事業	
小中学校耐震補強設計(継続)	18,082
小中学校耐震補強工事(継続)	515,099
文化会館耐震補強工事	116,672
既存住宅耐震診断・改修補助金交付事業	3,000
危険箇所実態調査事業	18,435
防災ラジオ普及事業	10,500
安心安全情報提供事業	5,000
地域防犯活動支援事業	1,500
<b>快適な都市環境の創造</b>	
河川環境整備事業	
上戸田川改修事業(継続)	635,633
さくら川整備事業	105,894

単位:千円

事項	予算額
<b>区画整理事業 特別会計</b>	
新曽第一土地区画整理事業	2,843,888
新曽第二土地区画整理事業	98,657
北戸田駅東1街区市街地再開発事業	246,000
<b>子育て支援事業</b>	
小児救急医療体制(一次救急)運営費補助事業	12,000
24時間こども家庭相談事業	6,125
親子ふれあい広場事業	3,476
保育園第三者評価事業	1,426
<b>その他主な新規事業</b>	
市制施行40周年記念事業	
式典及び記念事業	19,855
音楽祭(仮称)「戸田2006～」	2,290
コミュニティバス新路線運行事業	14,610
企業集積事業	3,880
議会中継の実施	1,563